

授業科目名	災害グローバル看護実践論 Disaster Nursing Practice with Global Perspectives	科目区分	領域別専門科目
対象学生	看護学研究科博士前期課程	開講年次・学期	2年次・前期
単位数	2	授業種別	講義
担当教員	増野園恵	所属	兵庫県立大学地域ケア開発研究所
オフィスアワー・場所	火曜日～木曜日・地域ケア開 発研究所2階研究室	連絡先	sonoe_mashino@cnas.u-hyogo.ac.jp
講義目的及び到達目標	<p>【講義目的】 災害リスクは、ハザード（Hazard）への曝露（Exposure）と脆弱性（Vulnerability）、対応力（Capacity）の関係で示される。地球温暖化や都市化、人々や情報の移動の迅速化・グローバル化、社会的格差など、地球規模での様々な課題が災害リスク削減に関連しており、災害への取り組みはグローバルな課題である。本科目では、国内外での災害看護の取り組みや課題を概観し、災害看護／災害健康危機管理をグローバルな視点から検討し理解を深め、災害リスクマネジメントへのグローバルかつ学際的なアプローチとその中での看護の役割を検討する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護／災害健康危機管理の課題をグローバルな健康課題との関連で議論できる。 2. 災害健康危機管理の課題にグローバル社会がどのように対応しているのか、そのメカニズムと課題を説明できる 3. グローバルな災害リスク削減への取り組みにおける看護の役割や今後の可能性について議論できる 		
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 災害の世界的動向を最新データ・知見を元にレビューし、国際的な枠組みでの災害対応や災害による健康課題や関連する人道上の課題について既存のレポートや資料から検討し、他国の災害看護／災害健康危機管理の取り組みについて他国の研究者等からの報告を元に議論する。学生は、関心のあるテーマを定め、データや資料探索を行い、授業でプレゼンテーションを行い、他の学生と議論を通して理解を深める。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション：災害とは、災害看護とは 2.世界の健康課題／災害の動向 3.災害リスク／人道問題 4.グローバル社会の災害対応(1) 5.グローバル社会の災害対応(2) 6.日本による災害時国際支援 7.災害と健康課題／人道問題①（学生によるプレゼンテーション） 8.災害と健康課題／人道問題②（学生によるプレゼンテーション） 9.災害と健康課題／人道問題③（学生によるプレゼンテーション） 		

	<p>10.災害と健康課題／人道問題④（学生によるプレゼンテーション）</p> <p>11.他国の災害対応</p> <p>12.他国の災害対応</p> <p>13.他国の災害対応</p> <p>14.災害看護における Cultural Care Competencies</p> <p>15.まとめ</p>
テキスト	<p>Wisner, Ben, Adams, John & World Health Organization. (2002). Environmental health in emergencies and disasters: a practical guide / edited by B. Wisner, J. Adams. World Health Organization. https://apps.who.int/iris/handle/10665/42561</p>
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ◆ FitzGerald, G., Tarrant, M., Aitken, P. and Fredriksen, M. (2017). Disaster Health Management- A primer for students and practitioners, Abingdon: Routledge. ◆ Sphere Association (2018). The Sphere Handbook 2018 Edition, Geneva: Sphere. https://spherestandards.org/wp-content/uploads/Sphere-Handbook-2018-EN.pdf ◆ WHO (2019). Health Emergency and Disaster Risk Mangement Framework, https://www.who.int/hac/techguidance/preparedness/health-emergency-and-disaster-risk-management-framework-eng.pdf
成績評価	<p>【成績評価の基準】</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力（知識、思考力、表現力）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>プレゼンテーション 40%、クラスでの議論への参加・発言 30%、最終レポート 30%で総合的に評価する。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>災害看護学領域の学生は、災害看護学総論、災害看護対象論および災害看護フィールドワーク I～IIIのいずれかを履修していること。</p> <p>本科目は災害看護 5 大学コンソーシアム協定によって提供される、コンソーシアム科目である。特別聴講学生として履修を希望する者は、事前に担当教員にメールで連絡をすること。</p>
備考	<p>一部、海外連携大学の教員等による特別講義があります。逐次通訳は入りませんので、英語の聞き取りおよび会話がある程度は可能であることが期待されます。</p>